

審査員特別賞

「沖縄市花いっぱい推進運動の取り組みについて」

南風原 江梨奈(沖縄市役所 建設部 建築・公園課 公園係)

1. はじめに

都市における花や緑は、市民が健康的で心豊かな文化的生活を営むうえで大きな役割を担っており、身近な生活空間に季節あふれる花や緑があることは、人々に癒しや潤いを与え、日々の生活を豊かにするものである。そのような生活環境の実現を図るためには、地域住民と関係諸団体の積極的な緑化活動への参加と協力が必要である。本事業は、市民参加による緑と花あふれるガーデンシティをめざすため、公共的空間及び各団体の外部空間(敷地の外ブロック壁、歩道、花壇等)を利用し、四季おりおりの花を植栽し、緑化に対する市民意識の高揚を図ることを目的としている。この目的の実現のため、地域住民や関係諸団体の協力により事業推進を行っていく。

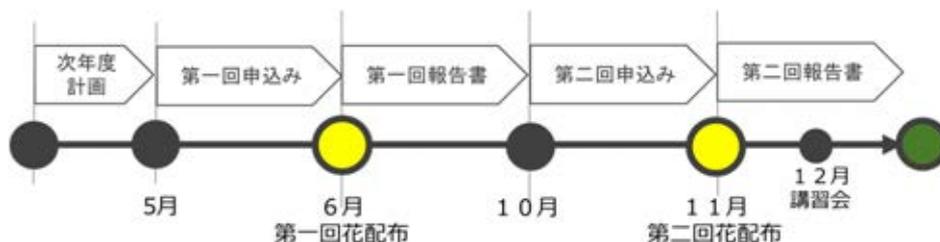
2. 沖縄市花いっぱい推進運動事業計画

1)実施方法

- (1)花いっぱい推進運動参加団体の募集を年に2回(5月、10月)行う。
対象:沖縄市内の自治会、通り会、教育関係機関、企業、その他団体
- (2)参加団体へ資材配布の日時の案内を行い、所定の日時、場所にて一斉に配布を行う。
- (3)参加団体は配布された草花の植栽を行い、活動状況報告書の提出を行う。
- (4)緑化に関する講習会の実施

2)実施スケジュール

沖縄市花いっぱい推進運動は、年に2回(6月、11月)行っている。配布資材の選定など、実施計画は前年度から行っており、今年度は7月上旬に第一回の草花配布をおこなっており、11月下旬にも草花の配布を予定している。



(1)実施計画(配布資材の選定)

夏の花(6月配布)

日々草
千日紅
メランポジウム
モスローゼ
ペチュニア
など



冬の花(11月配布)

ペゴニア
インパチェンス
金魚草
サルビア
マリーゴールド
など



他にも、培養土、肥料、低木(小葉サンダンカ)の配布も行っている。

(2)参加団体の募集(5月、10月)

配布予定日の1ヵ月前から、募集を募る。(先着200団体)

宣伝媒体

- 広報おきなわ(沖縄市広報誌)
- 沖縄市ホームページ
- 自治会(37自治会)
- 市内保育園、幼稚園、小中学校



(3)草花の配布(6月、11月)

- ・配布数量……草花5種(140鉢)、低木(3鉢)、肥料(2袋)、培養土(4袋)
- ・指定の日時、場所にて、一斉配布を行う。



配布会場



配布準備



配布している様子



配布資材

(4)活動状況報告書の提出

ア 保育、幼稚園

【作品テーマ】:花と友達いっぱいの幼稚園(泡瀬保育園)

【コメント抜粋】

毎朝、自分が植えた花の成長を観察して、「〇色の花が咲いたよ〜！」等、成長の喜びを感じながら話をする園児の姿も見られ、とても良い活動になった。



イ 教育関係機関

【作品テーマ】:花いっぱいの学校にしよう(宮里小学校)

【コメント抜粋】

栽培委員を中心に雑草取りから、花植え、毎日の水やりなど、頑張って花を育てることが出来ました。一人一鉢運動にも取組み、花いっぱいの学校になりました。



ウ 自治会

【作品テーマ】:公民館の周囲を花で飾ろう!(海邦町自治会)

【コメント抜粋】

「海邦町自治会公民館前に花を植えたい。」との希望がありました。今後も増やしていきたいので、宜しくお願いします。



エ その他団体

【作品テーマ】:地域のために花いっぱいの喜びを
(コザミュージックタウン管理組合)

【コメント抜粋】

管理組合会員である日本テクノ様、JA沖縄コザ支店様、地域住民にもご協力頂き、植栽を実施しました。来館者からも好評を得ており、花の持つ力に改めて気づかされております。



(5) 緑化に関する講習会の実施

毎年12月に、花いっぱい推進運動参加団体を対象に、緑化に関する講習会を開催している。参加者の緑化に対する意識の高揚を図るため、毎回アンケートを行い、要望の多い内容の講習会を企画、開催している。また植栽管理の仕方など、実際の活動に活かせる知識の習得の場ともなっている。



ハイビスカスの育て方や挿し木の仕方
(平成28年度)



花の寄せ植え教室
(平成29年度)

3. 沖縄市花いっぱい推進運動の効果

1) 市民参加による積極的な緑化活動の推進

図1より、参加団体数に多少の増減はあるが、年を重ねるごとに参加団体数が着実に上昇している。



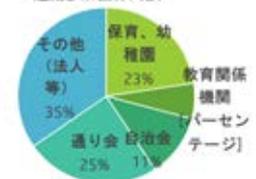
2) 公共的空間及び各団体の外部空間(敷地の外ブロック壁、歩道、花壇等)を利用した、市民参加による緑と花あふれるガーデンシティの創出

図2は直近の平成30年度花いっぱい推進運動の参加団体内訳となっている。市内各地域で、参加団体による緑化活動が行われている。

■公共的空間及び各団体の外部空間を利用

■ 保育、幼稚園	45団体
■ 教育関係機関	13団体
■ 自治会	23団体
■ 通り会	49団体
■ その他団体	69団体
計	199団体

図2. 平成30年度第一回花いっぱい推進運動参加団体内訳



3) 期待できる二次効果

- (1) 花いっぱい推進運動を活用した、教育現場における情操教育。
- (2) 緑化活動を通じた、地域の繋がりの構築。
- (3) 沖縄市全域で緑化推進活動が広がり、市としてのイメージアップにつながる。

4. 今後の課題と取組み

1) 参加団体等の維持

- ・参加者の要望を取り入れた配布資料の検討
- ・初心者でも育てやすい草花の選定
- ・参加者の植栽管理の知識の向上等
- ・フォローアップ講習会内容の充実

2) 新規団体の開拓

- ・周知方法の検討
 - 現在、市広報誌の活用及び、自治会、学校など限られたところへの周知となっている。部外の部署に呼びかけを行い、法人団体や、ボランティア団体など参加団体の拡充に取り組む。また、市民参加の緑化活動の推進という観点から、自治会参加100%を目指し、個別の案内や要望の聞き取りなどを行っていく。
- ・配布団体数の上限引き上げ
 - 現在、参加数200団体を上限としている。現段階で定員数に達したことはないが、今年度第一回花いっぱい運動の参加数は199団体であった。まず目下の目標は参加団体上限数の団体の参加を維持することであるが、この目標を達した後、上限数の引き上げを行い、市民参加の緑化活動の輪を更に広げていきたい。